

各地の話題 登米市

人と食と農の循環

2023年6月16日号掲載



平成29年に東京からUターン就農し、迫町で黒毛和牛の肥育と繁殖、自社で生産した黒毛和牛のネット販売に取り組む(株)三塚牧場では、昨年末に直営カフェ「Círculo」(スペイン語で循環の意味)をオープンした。

社長の三塚浩之さんと妻の香子さんは「以前から人が集まる場所を作りたい」と考えており、令和4年4月から、クラウドファンディングを活用してカフェ作りに着手。

浩之さん(右)と香子さん(左)



地域の集会所を再利用した店内は、牧場の牛糞堆肥と稲わらを利用した土壁が目を惹く。「元々あるものを活用できないか考えるのが好き」と語る香子さん。テーブルやベンチも市内で廃業したお店から引き取った。

「生活の中には様々な循環があると思う。カフェを始めたことで、米作りと畜産に直接触れ合う消費者との新たな循環ができた。カフェも農業の一部だ」と話す浩之さん。

カフェをきっかけに農業や農村の魅力に気づく人が増え、人々のつながりの場にしたいという想いを二人は共有している。

看板メニューのシルクロバーガー



【記事提供】登米市農業委員会